

Kaori Yuki × W140 S500L

文 北川 佑佳 Yuka Kitagawa
写真 宮野 政崇 Masataka Miyano

The
Beautiful
Stars
2011

穏やかに微笑む、着物姿の艶やかな女性がこの涼々しいベンツの所有者だとは、一見しただけでは信じがたい。「ギャップを狙っているから、そう言ってもらえるのが一番嬉しいですね」とオーナーの夏央里サンは口にする。

W140を選んだ決め手は、ボディの大きさとイカツさ。5000ccの大排気量が生むパワーもセダンの王道だと感じた。「W140が持つ本来の特徴を最大限生かすのがテーマです」。だからこそ迫力を出す

ことにこだわり、F4センチ・R5センチのプリスター、そしてF3センチ・R4センチのオバフェンという異色の組み合わせを選んだ。大幅にアップしたワイド感と、くっきり美しいアーチの共演。オンリーワンという言葉が相応しいスタイルだ。

エアロはインシュランスのアンビションを選択。元々がやや内巻きのためライト下を角張らせ、リップ部分も前方に延長。W140の良さを際立たせる、風格漂うフォルムに仕上がった。



プリスターとオバフェンを組み合わせ
圧倒的な迫力を手に入れた

Specifications

- AERO
- (F・S・R・D・W)インシラランス アンビション加工
- COLOR
- オリジナルレフトブレーク
- FENDER
- オーバーフェンダー(F)3cm(R)4cm+プリスターフェンダー(F)4cm(R)5cm
- SUSPENSION
- ワンオフ車高調
- WHEEL
- ワークVS-RS(F9.5J・R10J-20)
- TIRE
- ナンカン(F235/35・R255/30-20)
- MUFFLER
- センスブランドワンオフ(ショートサイド管・フュージョン左右出し・重低音ロングタイプ)
- EXTERIOR
- S600グリル移植・ボディ同色化、社外ヘッドライトクリスタル加工、テールランプLED・クリアスモーク加工、各部ワンオフダクト、GTウイング・ボディ同色化



06.ボディとのバランスを考えながらワイド感を持たせたフェンダー。07.ホイールはワークのVS-RS。力強い5本スポークにスポーティな走りを感じて購入。08.GTウイングはボディと同色化し、存在感と一体感を同時に手に入れた。



12.サイド管中央には、施工を手掛けたセンスブランドの名前が光る。13.3連マフラーは圧倒的な存在感。14.タイコからテールエンドとサイレンサーへ繋げ、排気もバッチリ。



09.ボンネットのダクトは、凹ませたように見えるが実はパテを用いて上に作り込んだもの。10.11.フェンダーダクトとリアドアのダクトは、「スポーティさはもちろん、プリスターの出具合をより強調させるために」この形状を選んだ。



01.グリルはS600用。ボディと同色加工で自然な印象に。ヘッドライトは社外品をクリスタル化して今風に。02.マフラーだけではなく、存在感抜群のGTウイングもスポーティさを増幅させる。

ボディカラーはブラック。赤ブレークを投入し、大人の雰囲気の中に美しい輝きをプラス。「ボディを黒にしたのはマフラーを目立たせるため」と言う通り、3種類のワンオフマフラーは絶大なインパクト

を誇る。出口の数はなんと合計12個。中でも特に目を引くのがリアバンパーのマフラーで、出口間にパンチングサイレンサーを追加し、純正にはない右側からも排気できるように仕上げた。センスブランドのフュ

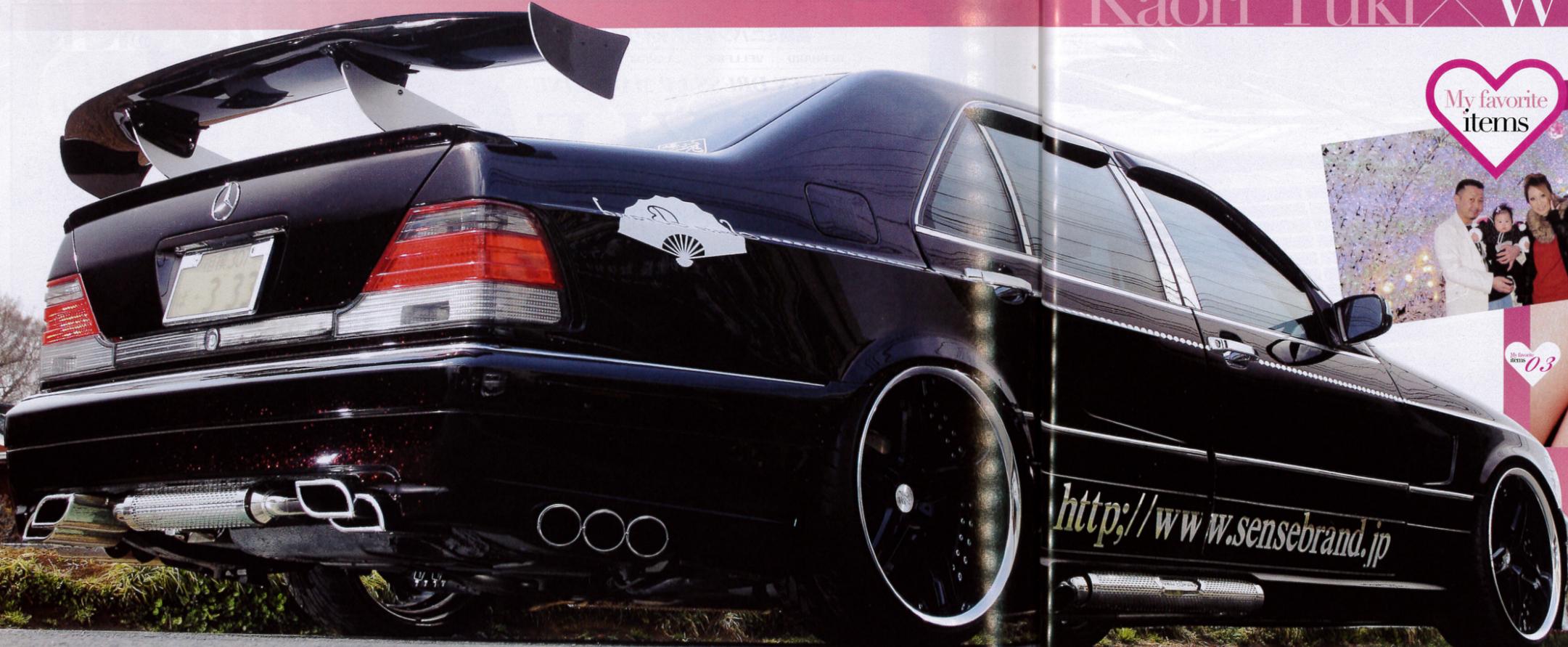
ージョンでテールエンドも個性的だ。また、両サイドに設置した存在感たっぷりのパンチングサイド管も必見で、アダルトな装いを狙って短めにしたのがこだわり。唯一、リア左右の3連マフラーだけがダミーだが「早く排気を通したいと思っています」。

さらに、リアビューに迫力を与えているのがレーシーなGTウイング。イカツさとワイド感を一層の高みへと押し上げ、どこから見ても隙なしの一台を完成させた。

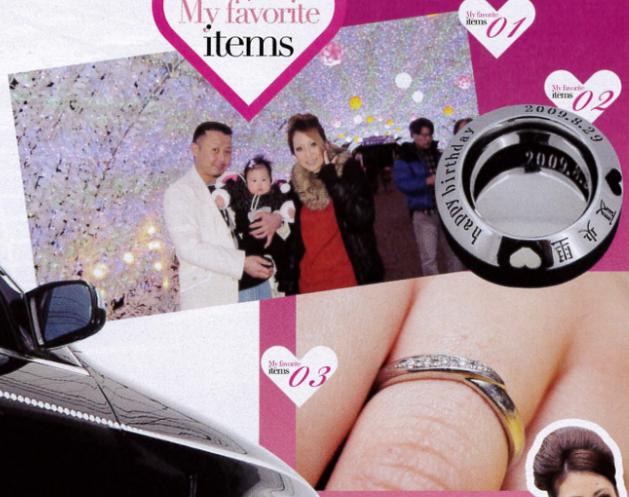


03.テールランプはLED&クリアスモーク加工で程良い明るさを作り出した。04.塗装を手がけたショップ・KSKのステッカー。この上から塗装を施し「モコモコ」になっています。05.ステンレスのカナードは美しい鏡面仕上げ。より一層「走り」を意識させる。

Kaori Yuki × W140 S500L Beautiful Stars 2011



My favorite items



03

01.愛娘の海乃(かの)ちゃんを挟んだ家族の3ショット。「夫婦揃って娘にメロメロです」。02.誕生日プレゼントにサプライズでもらった灰皿は、旦那さんの手作り。03.二人で選んで購入した思い出の指輪。



Profile

- ★ Name 結城 夏央里
- ★ Home 神奈川県
- ★ Blood type AB型
- ★ Constellation 乙女座
- ★ Career 1年半

今後については「内装に興味がある」と夏央里さん。「でも今は子育てに集中。一段落ついたら、同じようにギャップを狙って周りの人をあっと驚かせるスタイルに仕上げてみたいですね」と意欲十分。成長した海乃ちゃんとの再登場に期待!

ワンオフマフラー×GTウイングで仕上げた、無敵のイカツさ

その差は歴然! 注目のBefore/After [18クラウン]



■フロントパイプと中間パイプ



■フロントパイプ

ボン付けで得られる驚きの変化

18クラウン用ステルスキット (ストレートVer) を使って実際の効果を検証。純正時は第2触媒 (写真上: 真ん中の2つ膨らんだ部分) がフレームよりも下にはみ出ている。更に中間パイプにはサイレンサーがあり、こども撞りやすい部分と言える。一方、ステルスキットは触媒やサイレンサーを取り除いたパイプリアウトで、フレームとフラットな状態に。撞る心配を大幅に軽減。



■中間パイプ

技

18クラウン用SPサウンドVerのフロントパイプ装着写真。タイコは厚さ約11mmと薄型なので磨き心配なし。



17クラウンには専用の左右出しリアピースも設定



17クラウン用のステルスキットには、片側出しに加えて左右出し中間パイプの設定もある。専用のリアピースも同時発売中だ。

出口の形状はクリスタイヤ。14万4900円。(ステルスキット専用)

■ステルスキット

技 マフラー&カッター

STEALTH KIT

人気の底上げキットに対応車種が続々追加

16アリスト (3.0Lターボ・3.0L NA)



フロントパイプ(ストレート) 3万9900円・5万2500円
フロントパイプ(SPサウンド) 4万8300円・6万7200円
中間パイプ(ストレート) 5万2500円
中間パイプ(SPサウンド) 6万7200円

17マジスタ (3.0L・4.0L)



フロントパイプ(ストレート) 5万2500円
フロントパイプ(SPサウンド) 6万7200円
中間パイプ(ストレート) 5万2500円
中間パイプ(SPサウンド) 6万7200円
※4.0L用フロントパイプは15年発売予定

18クラウン (3.0Lアスリート)



フロント&中間パイプ(ストレート) 6万9300円
フロント&中間パイプ(SPサウンド) 9万2400円
※フロント&中間パイプ一体型

ステルスキット 新登場ラインナップ

低車高につきもの腹下への悩み。ワンオフ加工が主流のマフラー底上げも、純正交換・ボルトオンで可能にするのがこのステルスキット。種類はサイレンサー付きのスーパーサウンドとストレートの2タイプがある。

50シーマ (3.0Lターボ・4.5L NA)



フロントパイプ(ストレート) 3万9900円・5万2500円
フロントパイプ(SPサウンド) 4万8300円・6万7200円
中間パイプ(ストレート) 4万2000円・5万2500円
中間パイプ(SPサウンド) 5万2500円・6万7200円
※片側出し・左右出しの設定あり

17クラウン (アスリートV)



フロントパイプ(ストレート) 3万9900円
フロントパイプ(SPサウンド) 4万8300円
中間パイプ(ストレート) 4万2000円・5万2500円
中間パイプ(SPサウンド) 5万2500円・6万7200円
※片側出し・左右出しの設定あり

18マジスタ



フロント&中間パイプ(ストレート) 6万9300円
フロント&中間パイプ(SPサウンド) 9万2400円
※フロント&中間パイプ一体型

30セルシオ



フロントパイプ(ストレート) 5万2500円
フロントパイプ(SPサウンド) 6万7200円
中間パイプ(ストレート) 5万2500円
中間パイプ(SPサウンド) 6万7200円
※フロントパイプは14年発売予定

車高の楽しみを極められる高機能。低

マフラーの底上げをボルトオンで完了できるセンスブランドのステルスキット。今回、新たに7車種が追加となった。基本的なキット内容はフロントパイプと中間パイプのセットで、これらを純正と交換して底上げを実現。いずれもサイレンサー付きのスーパーサウンドとストレートの2バージョンから選択可能だ。

底上げの量は車種により異なるが、いずれも3〜4センチのクリアランスアップが見込める。その秘密はステルスキットのパイプ形状。例えば18クラウンなら、純正の触媒が斜め下を向いているため、それに繋がるパイプもフレームより低い位置まで伸び、その後リアへと続く。従って地面との距離が小さく、干渉の恐れも高い。一方、ステルスキットは触媒との接合部の角度を変更することで、フレームよりも若干高い位置にフロントパイプを引き上げている。それに続く中間パイプも同じ高さをキープするため、マフラー全体の底上げに繋がっているという仕組みだ。更に、触媒と接続するフランジの角がカットされ、より地面に擦りにくい形状となっている。

SENSE BRAND

センスブランド
tel.046-239-0117
http://www.sensebrand.jp